

# 漆

泉屋  
博古館  
MUSEUM  
OF  
HAKKOKU  
URUSHI  
MAKUNO  
BOKUKAN

# URUSHI

## 東洋の美を彩る素材

THE MATERIAL ENHANCING THE BEAUTY OF EAST ASIA

2022 5/28sat. - 7/3sun.

【主催】公益財団法人 泉屋博古館、京都新聞

【後援】京都市、京都市教育委員会、京博連、公益社団法人京都市観光協会、NHK京都放送局

【特別協力】目白漆芸文化財研究所

展示作品リスト ※所蔵に記載のない作品はすべて泉屋博古館（京都・東京）蔵

No.	作品名	作者	制作年	所蔵
プロローグ うるし — 東洋の美を彩る素材				
0-1	ウルシ	—		目白漆芸文化財研究所
0-2	ウルシの実	—		目白漆芸文化財研究所
0-3	ヤコウガイ	—		目白漆芸文化財研究所
0-4	アワビ	—		目白漆芸文化財研究所
0-5	螺鈿見本	—		目白漆芸文化財研究所
第1章 うるしをめぐる技				
1-1	楼閣人物図堆朱円盆	—	元時代・14世紀	
1-2	八吉祥文堆朱如意	—	清時代・17～18世紀	
1-3	紅花緑葉筆管	—	明～清時代・16～17世紀	
1-4	仙人図螺鈿食籠	—	元時代・14世紀	
1-5	楼閣人物図螺鈿盆	—	明時代・15～16世紀	
1-6	双鶴桃図螺鈿印材箱	—	朝鮮時代・17～18世紀	
1-7	西廂記図螺鈿盆	—	琉球時代・18～19世紀	
1-8	楼閣山水箔絵籐縁盆	—	琉球時代・18～19世紀	
1-9	秋草蒔絵硯箱	—	江戸時代・19世紀	
1-10	御所車蒔絵硯箱	—	江戸～明治時代・19世紀	
1-11	吉野山蒔絵十種香箱	—	江戸時代・18～19世紀	
1-12	鯉青海波蒔絵小鼓胴	—	江戸時代・18～19世紀	

No.	作品名	作者	制作年	所蔵
1-13	桐鳳凰蒔絵大鼓胴	—	江戸時代・18～19世紀	
1-14	月日貝椿蒔絵香合	—	江戸時代・17世紀	
1-15	麒麟鳳凰文蒔絵金沃懸地螺鈿長覆輪太刀拵	—	明治40年(1907)	
1-16	三ツ割菊・梶葉紋金梨子地蒔絵衛府太刀拵	—	江戸時代・19世紀	

## 第2章 うるしのあるくらし 宴

2-1	唐草梨子地蒔絵提重箱	—	明治時代・19世紀	
2-2	草花文蒔絵朱塗五重盃	—	江戸時代・17～18世紀	
2-3	三ツ盛抱茗荷紋蒔絵花月台	東門五兵衛	明治時代・19世紀	
2-4	京名所黒漆塗膳 1「木島神社(蚕ノ社)」望月玉泉 下絵 2「宇治平等院」幸野煤嶺 下絵 3「金閣寺」今尾景年 下絵	下絵：望月玉泉ほか	明治時代・19～20世紀	
2-5	長寛好獅子唐草箔絵会席具のうち煮物椀・脇引・丸盆	八代西村彦兵衛(象彦)	大正9年(1920)	

## 第3章 うるしでめぐる三都

3-1	野菜盛籠図蒔絵額	池田泰真	明治35年(1902)頃	
3-2	黒塗大平卓	北村久斎	大正～昭和時代・20世紀	
3-3	軍鶏蒔絵文箱	柴田是真	江戸時代・19世紀	
3-4	高砂蒔絵文台・硯箱	六代 西村彦兵衛(象翁)	大正10年(1921)	
3-5	秋草蒔絵文台・硯箱	迎田秋悦	明治～昭和時代・20世紀	
3-6	枝垂桜蒔絵手箱	戸島光孚	大正時代・20世紀	
3-7	京名所黒漆塗膳 1「糺の森」原在泉 下絵 2「清水寺」森川曾文 下絵	下絵：原在泉ほか	明治時代・19世紀	
3-8	扇面謡曲蒔絵会席具	八代西村彦兵衛(象彦)	大正時代・20世紀	
3-9	花鳥蠟色蒔絵会席具	東門五兵衛	明治時代・19世紀	
3-10	耕作蒔絵茶箱	日本蒔画合資会社	明治時代・20世紀	
3-11	富貴長命図蒔絵硯箱	初代芝川又右衛門	明治35年(1902)	

## 第4章 うるしのあるくらし 数寄

4-1	屈輪文堆黒弘子	—	清時代・18世紀	
4-2	青貝人物花鳥図硯箱	—	明～清時代・17世紀	

No.	作品名	作者	制作年	所蔵
4-3	螺鈿扁額「安靖」	徳大寺実則揮毫	明治時代・19世紀	
4-4	堆朱筆管	—	清時代・16～17世紀	
4-5	螺鈿筆管	—	明～清時代・16～17世紀	
4-6	唐子図螺鈿長方盆	—	明時代・16～17世紀	
4-7	唐子採蓮図堆朱鼻煙壺	—	清時代・19世紀	
4-8	楼閣山水図堆朱鼻煙壺	—	清時代・19世紀	
4-9	花鳥文堆朱軸盆	—	清時代・17～18世紀	
4-10	螺鈿柱聯「孝弟忠信」「礼義廉恥」	—	19世紀	
4-11	青貝山水図蒔絵茶箱	—	清時代・18世紀	
4-12	青貝芦葉達磨香合	—	明時代・16世紀	
4-13	青貝芦葉達磨香合添状	千宗旦	江戸時代・17世紀	
4-14	椿蒔絵棗	原羊遊斎	江戸時代・19世紀	
4-15	椿蒔絵棗書状	酒井抱一	江戸時代・19世紀	
4-16	秋草蒔絵十種香箱	—	江戸時代・17～18世紀	
4-17	源氏車夕顔蒔絵太鼓「玉ノ尾」	—	江戸時代・17世紀	
4-18	楼閣山水箔絵印材箱	—	清時代・17～18世紀	
4-19	松竹梅鶴芦手蒔絵硯箱	—	江戸時代・19世紀	
4-20	山水松菊蒔絵菓子箱	—	江戸時代・19世紀	
4-21	掛羅香合	—	江戸時代・18世紀	
4-22	天川宝珠香合	—	18～19世紀	
4-23	青貝布袋香合	—	明時代・17世紀	
4-24	独楽塗香合	—	大正10年(1921)	
4-25	青貝寿文字入棗	十代中村宗哲	大正13年(1924)	
4-26	老松吹寄蒔絵炉縁	下絵：大西尊由	大正14年(1925)	
4-27	打出木槌蒔絵大鼓胴	—	江戸時代・18～19世紀	
4-28	能管「薄雲」	—	江戸時代・17世紀	

No.	作品名	作者	制作年	所蔵
<b>第5章 美術品をめぐるうるし</b>				
5-1	輪花形朱塗天目台	—	元時代・14世紀	
5-2	伯庵茶碗 銘 宗節	—	江戸時代・17世紀	
5-3	色絵龍田川水指	野々村仁清	江戸時代・17世紀	
5-4	芦屋松竹梅丸紋真形釜	—	江戸時代・17世紀	
5-5	父庚甌	—	西周時代 紀元前11～紀元前10世紀	
5-6	能面 増女	洞白満喬	江戸時代・18世紀	
5-7	能面 増女	元休満永	江戸時代・17世紀	
5-8	木彫毘沙門天立像	—	鎌倉時代・13世紀	
5-9	紅葉呉器茶碗 作品箱	—	江戸時代・17世紀	
5-10	佐竹本三十六歌仙絵切 「源信明」 作品箱	—	大正8～9年(1919～1920)	

<b>第6章 うるしをよみがえらせる技 — 堆黄盆の文化財修復</b>				
6-1	龍図堆黄円盆	—	明万曆17年(1589)	
6-2	双龍図堆黄長方盆	—	明万曆20年(1592)	
6-3	設置台と心張り台	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-4	木篋	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-5	木篋の材料となる檜材	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-6	塗師刀	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-7	竹篋	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-8	くじら髭の篋、牛の角の篋、玳瑁篋、象牙篋	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-9	溜刷毛	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-10	砥石	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-11	竹ひご	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-12	ツケ	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-13	木粉(檜)	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-14	地の粉	—	—	目白漆芸文化財研究所
6-15	砥の粉・錆土	—	—	目白漆芸文化財研究所